学校ネットトピックス H291226 版

國學院大学・高校生新聞社　主催

第 13 回「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト で同時多数入賞！

平成２９年１２月２２日（金）　中日新聞　朝刊　尾張版

中日新聞掲載許諾番号 20171225-20441

杏和高2・坂東さん最優秀

地域伝承文化研究 人柱テーマの大作

地域の伝承文化に学ぶコンテストで入賞した（左から）蓑島さん、坂東さん、飯田さん、郷土研究チーム代表の沢井さん＝稲沢市祖父江町の杏和高で

高校生が地域の郷土料理や民話など身近な文化を調査、研究した作品を募る「地域の伝承文化に学ぶコンテスト」で、稲沢市祖父江町の杏和高校二年の坂東壮一郎さん(十七)が地域民話研究部門（個人）に応募した作品が最優秀賞に選ばれた。坂東さんを含め、同校から参加した個人・団体の全四作品が入賞した。（秦野ひなた）

コンテストは国学院大などが主催し、十三回目。地域文化研究、地域民話研究、学校活動の三部門ある。今回は七百九作品の応募があった。

入賞したのは坂東さんのほか、地域民話研究（個人）佳作の蓑島千東さん(十七)、地域文化研究（個人）で優秀賞に選ばれた飯田真世さん(十七)と、同研究（団体）で優秀賞に選ばれた生徒十九人でつくる郷土研究チーム＝代表・沢井翔太さん(十七)。いずれもコンテストへの参加を希望した二年生の有志で、地歴公民を教える小野田覚教諭(五十)の指導を受け、夏休みを利用して調査や研究に当たった。

最優秀に輝いた坂東さんの作品は「川との死闘～与三と人柱観音像にこめられた思い～」。自宅近くの一宮市起町が舞台で、かつて川をせき止める工事の際にいけにえとなった男「与三」を主人公にした民話や、与三らをまつる人柱観音像について調べた。

人柱をキーワードに柳田国男全集を読み込み、学校や地元の図書館などを活用して与三にまつわる九種類の民話を集めた。それぞれ人物設定や結末が異なっていることを表にまとめ、地元の学芸員や寺の住職らの見解も取材。関連する場所に足を運んで写真も盛り込み、資料編も含めると計七十四ページにもなる大作を完成させた。「欠けている文献もあり、後世に残すためにも若者が興味を持つことが大切だと思った」と振り返った。

そのほか、蓑島さんは弥富市の巨木「おみよしの松」、飯田さんは漬物の起源、郷土研究チームは地元に伝わる祖父江の虫送りをそれぞれ取り上げた。

小野田教諭は「どの作品も、生徒が現場に行く労をいとわず足で稼いだから輝いている。大学で研究するような難しいことに挑戦すると決め、よく頑張った」とほめたたえた。